

教材名	花さき山	教科書	学研、(東書、教出3年、光文3年)	学年	4年
内容項目	感動・畏敬の念	美しいものや気高いものに感動する心をもつこと			
内容項目のとらえ方 (子どもの実態を踏まえ)	自己犠牲や我慢や辛抱が気高いことだと決めつけたり押し付けたりしてはいけない。人の哀しみや不安を心いっぱい感じて、その人のほっとした笑顔を見たくて自分ができることを思わずしてしまっている。そんなさりげないやさしさにこそ感動があるのだと思う。				
授業の展開					
子どもたちの活動			指導上の留意点		
<p>1. 齊藤隆介の作品についていくつか紹介し、本作品への興味関心を持たせる。</p> <p>2. 物語を読み、疑問や感想を出し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「おなごわらし」「にしめ」「ベベ」「せつなかつた」などの言葉の意味は？ ・「山ンば」ってだれ？ ・どうして「山ンば」はなんでも知ってるの？ ・自分はややみたいにできないな。 ・たしかにあやはすごいかもしれない。 </div> <p>3. あやとふたごの赤ンぼうのあんちゃんが妹や弟に「譲った」とき、どんな気持ちだったと思うか考え、意見をだしあう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年上だからしょうがないという気持ち ・妹や弟が喜ぶなら自分はいいや ・妹や弟が喜ぶ顔が見られればいいかな ・上のきょうだいは損だなあ ・妹や弟は辛抱できないからなあ </div> <p>4. 「今、花さき山に花が咲いたな」と思った経験を思い出し発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>例</p> <p>花が咲いたな、と感動した経験はありますか？</p> </div>			<p>○「べろ出しちゃんま」「モチモチの木」「ソメコとオニ」「八郎」など教科書や図書館でよく見かける作品を紹介する。</p> <p>○できればパネルシアターや「読み聞かせ」で作品の持つ「美しさ」や「やさしさ」を感じさせたい。</p> <p>○物語が方言で語られているのでわからないところもどンドン尋ねてよいと伝える。</p> <p>○「自分だったら・・・」と考え、いろいろな意見が出てきてよいことを伝え、ともだちの意見もしっかり聞くように伝える。</p> <p>○あやや赤ンぼうのあんちゃんの気持ちについてを交流するが、自己犠牲こそが美しい行為だと取り違わないように配慮する。</p> <p>○そんな行為ができる時もあるかもしれないが、できない時の方が多いのも人間らしいと安心させる。</p> <p>○まず先生が例を話してあげる。 子どもたちが気づいていないような、クラスの中にあるいろいろな気持ちや行為を紹介し、「花を咲かせること」が目的ではなく、周りの人のことを思って、ふとおこなった行為の「ステキさ」を共有する。</p> <p>○オープンエンドで終わる。</p>		